

市制75周年記念事業企画書

課所名	経済部 商工労政課
事業名	『あかがね工業博2012』(仮称)
実施主体	あかがね工業博実行委員会(市、高専、会議所、愛テクフォーラム、機械産業(協)、住友各社 ほか)
事業実施期間	平成24年10月6日 ~ 平成24年10月8日

【事業の概要】

別添のとおり

【事業の対象者及び参加予定人数】

市内企業、市外企業、市民、小中学生、高校生、高専生 ほか
約10万人

【期待される効果】

別添のとおり

【事業費及び財源内訳】

事業費(千円)	4,006	事業費明細		
		節・細節	金額(千円)	積算根拠
国庫支出金				(総事業費 8,012千円)
県支出金				
その他		負担金補助及び交付金	4,006	
一般財源	4,006			

市制75周年記念事業企画書

課所名	企画部 秘書広報課
事業名	新居浜の魅力発信、魅力再発見事業
実施主体	新居浜市
事業実施期間	平成24年 4月 1日 ～ 平成24年 12月 31日

【事業の概要】

1. 新居浜の魅力を発信するPR映像の制作

新居浜市は住友グループ企業が多く立地している関係もあってビジネス(出張)で訪れる人は以前から多く、また、観光都市ではありませんが、「東洋のマチュピチュ」効果などにより、市外・県外からの観光客数も増加しています。このような中で、これまで紙媒体で新居浜を紹介するものはありましたが、インターネット等の普及により現在は「映像」による情報提供が求められています。(住友グループ企業の方から県外から来市される取引先や社員に新居浜を紹介したいのでDVDのようなものを作ってほしいという話もいただいている)

このようなことから、新居浜の魅力(歴史、文化、産業、観光など)を全国に発信し、あわせて市民が新居浜の魅力を再発見してもらえるPR映像を制作し、市内外に配布し利用していただくとともに、ホームページ等で公開することによって全国、全世界どこからでも見ていただけるようにします。

2. 新居浜の現状、将来像を発信する記念誌「市勢要覧」の発行

これまで市制施行25周年、30周年、……65周年、70周年と、周年(5年)ごとに発行してきている。

目的の一つは記念式典で参加者に配布及び関係機関、団体等への配布であるが、もう一つの目的は5年ごとの節目の年に、その時代を記録するものとしてこれまで発行されてきました。75周年においても、第五次長期総合計画に沿った将来都市像など、平成24年の新居浜市の記録として発行します。

3. 資料映像(静止画、動画の空撮)の収集

新居浜市では、特定の施設、事業等を担当課所が単独で撮影(ほとんどが静止画)することはありましたが、市役所全体でまとめて撮影する機会はありませんでした。上記1. 2. にも使用し、今後必要な場合に使用できるよう資料映像として保存しますが、各課所でも説明資料やパンフレットなどにも使えるよう、希望課所(か所)を募って撮影します。

【事業の対象者及び参加予定人数】

【期待される効果】

1. これまで、新居浜の情報発信をする手段は紙媒体がほとんどであったが、映像(番組)にすることにより、市主催の会議、講演会、シンポジウム、イベントのみならず、各団体、企業においても市外、県外の方が来市される商談、会議、シンポジウム、イベントなどの際に今回制作する映像(番組)を見ていただくことにより、新居浜を認知していただく機会が増加します。また、市ホームページ等から配信することにより、新居浜について知りたい人に全国どこからでも見ていただくことができます。

2. 市勢要覧については、記録が残っているものでは昭和24年(1949年)に発行された「市勢と統計」、昭和26年(1951年)に発行された「市勢要覧」をはじめとして、昭和37年(1962年)の市制施行20周年以降は5年ごとの節目の年に「市勢要覧」が発行されている。いずれも行政、財政、産業経済、教育文化をはじめその時代の貴重な記録が掲載されており、今回もこの時代の記録として制作します。

3. 地上での撮影では全体像を把握、説明しにくいたとえば、産業遺産(旧別子、東平など)や道路(11号バイパス、上部東西線など)、公園(河川敷緑地、山根運動公園など)などを、空撮することで全体像がつかめ、国・県、あるいは市民、観光客などあらゆる場面で説明に使う資料として利用できます。今後いろいろな場面での有効な活用が期待できます。また、各課所が個別に撮影するよりも、まとめて撮影する方が費用を抑えることもできます。今後は、歴史の記録として変わりゆく新居浜を定期的(5年ごと、10年ごと)に記録(撮影)していくことが必要です。

【事業費及び財源内訳】

事業費(千円)	6,000	事業費明細		
		節・細節	金額(千円)	積算根拠
国庫支出金		委託料	6,000	1. PR映像の制作委託料 3,000千円 2. 市勢要覧の制作委託料 1,500千円 3. 資料映像(空撮)制作委託料1,500千円
県支出金				
その他				
一般財源	6,000			

市制75周年記念事業企画書

課所名	別子銅山文化遺産課・スポーツ文化課・社会教育課
事業名	歌劇「天空の町」～別子山と伊庭貞剛～
実施主体	歌劇「伊庭貞剛」実行委員会
事業実施期間	平成24年 5月 26日 ～ 平成24年 5月 27日(歌劇上演日)

【事業の概要】

明治26年(1894)、別子銅山支配人として伊庭貞剛が着任。銅の製錬から出る亜硫酸ガスによる別子山系の山々の破壊を復元すべく、大規模な植林事業を興し、自然を見事に蘇えらせた伊庭貞剛の偉業を市民歌劇によって顕彰する取り組みである。伊庭貞剛を主人公にした歌劇を有志による実行委員会が開催する。初演の新居浜市を皮切りに今後全国各地、世界各地で公演されることによって、郷土の誇りである伊庭の道義的精神が広く伝えられることを願う。伊庭は新居浜に着任した時の山野の荒廃ぶりを見て、「天地の大道」に反するとして心を痛めた。先般、全国自治体環境会議が当市で開かれ伊庭の紹介もされたが、環境保全を重視した事業がすでに110数年前に、世界に先駆けて行われていたことは驚きでもって称えられている。年間100万本を越す植林事業によって、別子山系のみならず、山根のえんとつ山が象徴するように、新居浜地区の山野も元の緑の山々に復活させた。歌劇は伊庭の青年期、別子山への決死の覚悟での受諾、問題解決、晩年というストーリーで歌いあげられていく。新居浜市とゆかりのある人物をテーマにした本格的歌劇で、市民に歌劇の面白さや伊庭貞剛の功績を伝える。

【事業の対象者及び参加予定人数】

オペラ出演者は市民からも公募する。当日は1,600人の有料観客、児童生徒800人を招待する。

【期待される効果】

- ①教育効果が期待できる。新居浜市の歴史を知り、郷土ゆかりの偉人の生き方・考え方を学ぶとともに自然環境の保全の大切さを認識することができる。
- ②別子銅山の近代化に貢献した広瀬幸平氏はよく知られているが、労使紛争や農民騒動を収め、荒廃した山々を元の緑豊かな自然に回復させた、伊庭貞剛の業績や精神は余り知られていない。ここにスポットを当て彼の偉業を顕彰することができる。
- ③歌劇という舞台芸術に触れることを通して、「百聞は一見にしかず」というように、いつまでも心に残るといふ点で効果的。また小・中生徒にも強い印象を残すことができる。
- ★環境に対する先駆的な取り組みを郷土の先人達が行ったことを市民が認知することによって、郷土に対する誇り、愛情を深めたい。

【事業費及び財源内訳】

事業費(千円)	3,000	事業費明細		
		節・細節	金額(千円)	積算根拠
国庫支出金		負担金補助及び交付金	3,000	予算書別添
県支出金				
その他				
一般財源	3,000			

市制75周年記念事業企画書

課所名	郷土美術館
事業名	平成24年度特別企画展 近藤勝也展(仮称)
実施主体	新居浜市教育委員会
事業実施期間	平成24年 7月 28日 ~ 平成24年 8月 31日 (未定)

【事業の概要】

市制75周年を迎えるにあたり、新居浜市出身で、現在当市の観光大使にも任命され、スタジオジブリで「魔女の宅急便」「崖の上のポニョ」や最近公開された「コクリコ坂から」などの作画監督やキャラクターデザインを担当する実力派アニメーター近藤勝也氏を、スタジオジブリで手掛けてきた「原画」や「レイアウト」等に、アニメーションの制作工程、また、創成期の作品なども交えて展示し、アニメーターとしての道のりを紹介する展覧会とする。

アニメーションは、日本の誇る文化として世界にも広く知られているところであるが、原画というパーツの芸術性や、技術の高さは、まだまだ認知されているとは言い難い状況である。アニメーション文化に対して、市民の意識を高め、全体の地位向上を図るということで、意味のある展示としたい。

一方で、近藤氏が現在に至った背景のひとつに、両親の多大な力添えがあり、現在も大切に保管されている幼少期からの絵画作品や、イラストを書き綴った大量のノート等を併せて展示することで、様々な生き方のひとつの例を知って頂ける機会を創出できるよう取り組む。

開催期間 平成24年7月28日～8月31日 30日間 ※月曜休館 (未定)

展示構成: ①アニメーションができるまで→②近藤勝也の仕事→③仕事の周辺→④アニメーターになるまで

展示点数 約60点(未定)

入場料: 無料

【事業の対象者及び参加予定人数】

対象者: 小学生～高校生及び一般

推定入場者数: 6000人

【期待される効果】

- ・近藤勝也氏を通して、アニメーションの魅力と、その制作過程及び、芸術性や技術の高さを広く知っていただく。
- ・優れた作品に触れることで、市民のアニメーションに対する意識を高め、身近な芸術文化を、様々な視点で楽しむことができる。
- ・アニメーターという仕事を身近に感じ、この仕事に興味を持った子どもたちの中から、次代のアニメーターが誕生することを期待している。

- ・子どもたちに鑑賞していただくことで、こんな生き方もできるんだという一例を知ってもらい、夢をもつこと、夢をかなえるために努力することの大切さを感じてもらう。
- ・子どもを持つ親世代に鑑賞していただくことで、子どもの可能性を信じることや、教育について改めて考えるきっかけとしてもらう。
- ・開催期間を夏休み期間とし、多くの親子連れに来館して頂けるようにする。

【事業費及び財源内訳】

事業費(千円)	6,500	事業費明細		
		節・細節	金額(千円)	積算根拠
国庫支出金		別紙参照		
県支出金				
その他				
一般財源	6,500			

市制75周年記念事業企画書

課所名	市民活動推進課
事業名	＜新居浜市市制施行75周年記念・日本のお手玉の会設立20周年記念＞ 第17回全国お手玉遊び大会補助事業
実施主体	日本のお手玉の会、第17回全国お手玉遊び実行委員会
事業実施期間	平成24年9月29日 ～ 平成24年9月30日

【事業の概要】

平成24年9月に日本のお手玉の会は設立20周年を迎える。新居浜市で生まれたお手玉遊びの活動は多くの賛同者や支援者を得て各地に広がり、日本の伝統文化のひとつであるお手玉遊びは一躍脚光を浴びることになった。このお手玉遊びの普及活動に触発されるように、ビー玉、ちょんかけごま、おはじき、針金細工など日本の伝統遊びの復権が様々な街で取り組まれることとなった。

日本のお手玉の会の20年間の活動を集約すると、日本や世界のお手玉の収集、全国各地のお手玉遊びやお手玉歌の掘り起こし、お手玉遊び教室の運営、お手玉遊び大会の開催、海外遠征、お手玉段位認定制度の創設、日本初の寄せ玉遊びの共演、機関紙の発行、お手玉遊び図書の監修・発刊などお手玉文化の保存、継承に多大に寄与するものであり、また全国に46の支部が設立され、支部を中心にお手玉遊びの輪が全国に広がっている。

平成18年には、新居浜市市制施行70周年を記念して、新居浜が世界に誇る産業遺産、太鼓祭り、お手玉の3つの歴史文化を集約した記念誌(3部作)が発刊され、新居浜市はお手玉遊び文化の発祥の地として全国に認知されることとなった。

平成24年は、新居浜市市制施行75周年に当たる。それと、日本のお手玉の会の20年の活動の節目になる。そこで、これまでの活動の集大成と今一度お手玉文化の素晴らしさを再認識し、支えていただいた多くの皆様のご支援、ご協力をいただきながら、20周年記念事業を実施展開し、さらなるお手玉文化の保存、継承活動を図るものとする。

会場:リーガロイヤルホテル新居浜

テーマ:(予定) ～ぬくもりを届けたい、手から心へ～ 「笑顔の輪を広め絆を深めよう」

(1) 記念事業(予定) 記念講演会、交流会(前夜祭)

(2) 全国お手玉遊び大会 全国から参加者を募集し、お手玉の競技種目に分かれて一般の部、小学生の部の個人戦、団体戦の競技大会を実施する。ほかに各地の寄せ玉遊びを持ち寄っての競演会、お手玉の技量を認定する段位認定、お手玉作り方教室、お手玉遊園地などを開催する。

(3) 20周年記念誌の発行(予定)

【事業の対象者及び参加予定人数】

市民及び全国各地のお手玉愛好家 約10,000人

【期待される効果】

日本の伝統文化であるお手玉文化の普及、啓発とお手玉を通じた三世代交流の推進、新居浜から全国へお手玉文化の情報発信を図る。

【事業費及び財源内訳】

事業費(千円)	2,000	事業費明細		
		節・細節	金額(千円)	積算根拠
国庫支出金		負担金補助及び交付金・補助金	2,000	
県支出金				
その他				
一般財源	2,000			

市制75周年記念事業企画書

課所名	図書館
事業名	別子銅山記念図書館開館20周年記念事業「笑顔輝く 絵本ライブ」
実施主体	図書館(新居浜市)
事業実施期間	平成24年 10月 OR 11月頃

【事業の概要】

来年は、別子銅山記念図書館開館20周年の年にも当たり、市制75周年とともに記念事業として「落語絵本シリーズ」で有名な絵本作家 川端 誠 氏を招き、子ども～大人対象に制作の裏話などのトークをはさんだ自作絵本の開き読み「絵本ライブ」と大人対象の「講演会」を実施する。講演後にサイン会も実施する。

川端氏は、1982年にデビュー作の「鳥の島」で第5回絵本にっぽん賞を受賞。落語絵本シリーズ(クレヨンハウス)、「お化けシリーズ」「野菜忍者シリーズ」(BL出版)など多数の著書があり、作品、シリーズごとに多彩な世界を展開している。特にテレビ番組のおかげで落語絵本シリーズ「じゅげむ」等が大ブレイクする。

【事業の対象者及び参加予定人数】

市民 約300人

【期待される効果】

本市は、「あかがねのまち、笑顔輝く 産業・環境共生都市」を都市像の理念にしており、近年、落語の盛んな街となり先般「笑顔甲子園」も開催された。当事業については、子ども～大人まで絵本を通じて笑顔を届けることができ、絵本の楽しさ、大切さを認識することにより読書推進を図ることができる。

【事業費及び財源内訳】

事業費(千円)	269	事業費明細		
		節・細節	金額(千円)	積算根拠
国庫支出金				
県支出金			別添のとおり	
その他				
一般財源	269			

市制75周年記念事業企画書

課所名	スポーツ文化課		
事業名	「音楽の絵本」親子コンサート		
実施主体	スポーツ文化課		
事業実施期間	未定(平成24年8月以降)		
【事業の概要】			
<p>ズーラシアンブラスによる「音楽の絵本」コンサートの実施。</p> <p>かわいらしい動物の姿で本格的なクラシックを演奏し、小さな子どもからお年寄りまでみんなで楽しめるコンサート。</p> <p>チケット代を 大人 2000円 子ども(小学生以上) 500円 程度の安価な価格に設定し、気軽にホールへ足を運んでいただく。</p>			
【事業の対象者及び参加予定人数】			
市民約1000人(幼児、子どもとその保護者)			
【期待される効果】			
<p>一般にコンサート(特にクラシック)は小学生未満入場不可ということも多いが、小さいころから生の音楽を楽しむ機会をもつことは大変素晴らしいことである。また、市内のホールには親子室がなく、気兼ねなく子どもをそういう場に連れていけて親たちも一緒に楽しめる機会がほしいという声に応えられる。また、総合文化施設オープンに向けて芸術文化に親しむすそ野をひろげることができる。</p>			
【事業費及び財源内訳】			
事業費(千円)	1,970	事業費明細	
		節・細節	金額(千円)
国庫支出金	0		
県支出金	0		
その他	750		
一般財源	1,220		別添のとおり
			積算根拠

市制 75 周年記念事業企画書

課所名	経済部 商工労政課																															
事業名	オール四国 高校生溶接技能コンテスト開催事業																															
実施主体	新居浜市、日本溶接協会、同協会四国地区溶接技術検定委員会、四国内各県溶接協会、四国内各県教育委員会、四国内各県工業高校教育研究会、東予産業創造センター																															
事業実施期間	平成 24 年 6 月中旬～7 月上旬																															
<p>【事業の概要】</p> <p>市制 75 周年を記念として、四国全域の高校生による溶接技術の競技会を開催する。</p> <p>溶接は、あらゆる製造現場で作業されており、ものづくり産業の基礎となる技術である。溶接技能のレベルアップを図るため、また、製造現場での技能者不足を解消するために、四国 4 県にまたがる高校生による溶接技術を競い合うコンテストを実施する。</p> <p>新居浜の地には、平成 23 年 4 月、社団法人日本溶接協会の四国地区溶接技術検定委員会事務局が溶接機を新たに設置してオープンした。また、同年 10 月には、隣接して新居浜市ものづくり産業振興センターがオープンする。両施設には約 40 台の溶接機を備えていることから、施設開設記念として、また、市政 75 周年記念大会として、『オール四国 高校生溶接技能コンテスト』を開催する。</p> <p>イベントの内容は、四国各県で勝ち抜いた溶接技能の高い高校生たちに新居浜に結集してもらい、両施設を活用して四国大会で各種溶接作業をして、技能を競い合う。優秀者には、新居浜市長賞などを授与する。宿泊場所は、近隣のマリナパーク新居浜を利用してもらい、出場高校生たちの交流も促す。</p> <p>競技ジャンルは、JISZ3801/WES8201 の A-2F 下向、9mm 中板、裏あてあり、開先角度 60 度、イルミナイト系 4mm 棒による被覆アーク溶接などを予定しており、検査項目としては、安全に対する配慮、目視による検査のほか、内部 X 線検査、磁性探傷検査などを実施する。記念行事として、溶接マイスターによる模範演技も披露する。</p>																																
<p>【事業の対象者および参加予定人数】</p> <p>四国内各県溶接技能を勝ち抜いた高校生及び指導教官約 50 名</p>																																
<p>【期待される効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習指導要領の必修履修科目「工業技術の基礎の」の「溶接の充実」 ・ 高校生に興味をもたれている「溶接」実習の充実、さらなる高度教育と溶接担当教員のレベルアップ ・ 工業高校の溶接の充実による教育効果の拡大、及び、産業界・企業への人材確保 ・ 新居浜市地元における経済振興の推進 																																
<p>【事業費及び財源内訳】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">事業費(千円)</th> <th rowspan="2" style="width: 15%;"></th> <th colspan="3" style="text-align: center;">事業費明細</th> </tr> <tr> <th style="width: 15%;">節・細節</th> <th style="width: 15%;">金額(千円)</th> <th style="width: 15%;">積算根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国庫支出金</td> <td style="text-align: center;">2,004</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>県支出金</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: center;">日本溶接協会ほか 1,002</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">別添のとおり</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td style="text-align: center;">1,002</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					事業費(千円)		事業費明細			節・細節	金額(千円)	積算根拠	国庫支出金	2,004				県支出金					その他	日本溶接協会ほか 1,002			別添のとおり	一般財源	1,002			
事業費(千円)		事業費明細																														
		節・細節	金額(千円)	積算根拠																												
国庫支出金	2,004																															
県支出金																																
その他	日本溶接協会ほか 1,002			別添のとおり																												
一般財源	1,002																															

市制75周年記念事業企画書

課所名	別子銅山文化遺産課
事業名	『新居浜萬歩 一昭和一』写真集作成事業
実施主体	新居浜市
事業実施期間	平成24年 4 月 1 日 ～ 平成25年 3 月 31 日

【事業の概要】

新居浜市は昭和12年の市制施行以来、いく度の合併を重ねながら発展を続けてきた。市制50周年にあたり、『過去・現在・未来展』が開催され、その展覧会で使われた写真により写真集が作成されたが、それから既に四半世紀が経過しており、それ以後に程度の良い状態の「昭和通り開通式」の写真や建設当時の「武徳殿」や「新居浜公会堂」の写真などがみつき、また、市制施行70周年のときに開催した『昭和レトロ展』などにおいて、市民から写真の提供があり、別子銅山関係の歴史や新居浜の昭和史を彩ってきた建物や風景、生活の様子など、ある人にとっては懐かしく、またある人にとっては新しい発見となりうる写真集を作成できる写真ストックがある程度揃ってきている。さらに、市民への公募を行うことにより、充実した新居浜の現代史を語るに相応しい写真集を作成することができると考えている。

また、今回の写真集作成にあたり、この2年間『記憶の継承事業』と称して、別子銅山を中心とした生活史を昔を知る方から聴取してきたが、これらの話や写真の解説や裏話などを併せて掲載することにより、昔を知らない若い人たちにも昔の新居浜をイメージしやすいものとした。

公募期間を調節することにより、いつもであれば11/3に周年事業として開催される式典において、関係者に配布することも可能であると考えている。また、単価を下げるためにも、発行部数を増やして一部販売することを考えている。

なお、写真集の装幀については、市制施行50周年時の『過去・現在・未来展』と同じものとした。因みにこの装幀は、日和佐初太郎氏【個人出版・販売】の写真集とも同じであり、所有者にとっては3部作として本棚に収まり、購入しやすいと考えている。

【事業の対象者及び参加予定人数】

配布対象者及び購入者 1000人

【期待される効果】

別子銅山の歴史を中心に、新居浜の昭和史の発展を振り返る写真集を作成することにより、別子銅山と共に育まれた町であることを理解してもらおうとともに、新居浜市への愛着や誇りをさらに強く持ってもらえると考えている。

【事業費及び財源内訳】

事業費(千円)	3,085	事業費明細		
		節・細節	金額(千円)	積算根拠
国庫支出金				
県支出金			別添のとおり	
その他	900			
一般財源	2,185			

市制75周年記念事業企画書

課所名	広瀬歴史記念館
事業名	特別企画展「別子銅山近代化の胎動 - 明治14年別子鉱山写真帳の世界 -」(仮称)の開催と『明治14年別子鉱山写真帳』の復刻
実施主体	広瀬歴史記念館
事業実施期間	平成 24年 11月 3日 ~ 平成 24年 12月 2日(予定)

【事業の概要】

口屋、立川眼鏡橋、勘場、牛車道、第一通洞、旧別子全景など、私たちに馴染み深い別子銅山の古写真の多くは、明治14年撮影の別子鉱山写真帳の写真である。明治の近代化の胎動を感じさせるこの写真帳を中心に、国立科学博物館所蔵「別子鉱山之図」などの絵図、写真、文書資料などによって、幕末から明治10年代までの別子銅山近代化の様子をたどり、工都新居浜のルーツを探る企画展を開催する。併せて『明治14年別子鉱山写真帳』を復刻し(1000部)、実費頒布するとともに、75周年式典記念品とする。

【事業の対象者及び参加予定人数】

市民・2000人

【期待される効果】

工都新居浜のルーツである別子銅山の近代化についての認識が高まり、市内の近代化遺産への理解が深まる。

【事業費及び財源内訳】

事業費(千円)	7,332	事業費明細		
		節・細節	金額(千円)	積算根拠
国庫支出金				
県支出金				
その他			別添のとおり	
一般財源	7,332			

市制75周年記念事業企画書

課所名	運輸観光課		
事業名	(仮)大物産展		
実施主体	新居浜市物産協会		
事業実施期間	平成24年11月		
【事業の概要】			
<p>市制75周年の年にふさわしい、食と健康と和をテーマにした大物産展を新居浜駅前で開催する。物産協会加盟の店舗による物産の販売のほか、太鼓台運行やミニSL、ステージでのライブ演奏、大抽選会等の楽しいイベントも予定している。</p> <p>また、大物産展には、地震や台風の被害を受けた被災地からイベントに参加していただき、復興の応援も行いたい。</p>			
【事業の対象者及び参加予定人数】			
一般市民を対象に1万人の集客を目指す。			
【期待される効果】			
<p>多くの来場者の方々に、新居浜の地場産品を知ってもらい、買ってもらうことにより地域経済の振興に寄与することができる。</p> <p>駅前広場完成イベントなどでも実績があるように、物産展には大きな集客力がある。この集客力に、太鼓台運行、ミニSL、ライブ演奏等の楽しいイベントを行うことにより、多くの来場者に来ていただき、駅前のにぎわい創出にも寄与できる。</p> <p>また、当日は、大物産展のほかに自転車、大島をキーワードにしたイベントも開催予定であり、相乗効果による集客も見込める。</p>			
【事業費及び財源内訳】			
事業費(千円)	1,000	事業費明細	
		節・細節	金額(千円)
国庫支出金		負担金補助及び交付金	1,000
県支出金			
その他			
一般財源	1,000		
			積算根拠
			予算書別添

市制75周年記念事業企画書

課所名	市民税課
事業名	原動機付自転車新課税標識(ご当地ナンバープレート)交付事業
実施主体	新居浜市
事業実施期間	平成24年6月1日 ~ 平成25年3月31日

【事業の概要】

全国各市で交付している原動機付自転車の課税標識(ナンバープレート)に地域の特性を活かしたデザインのオリジナルプレートの導入が増加している。県内でも、松山市、今治市が導入しており、宇和島市が2012年4月に交付することになっている。

75周年記念事業の一環として、記念になるプレートを交付する。デザインは全国公募や、地元出身イラストレーター、キャラクターシンボル等、市民等に親しまれ、また市外にも広告できるものを取り入れ、本市らしさをアピールする。交付開始は平成25年3月1日。

【事業の対象者及び参加予定人数】

全国 人数未定

【期待される効果】

小さなナンバープレートに新居浜の特性を表現し、プロモーションできる。

【事業費及び財源内訳】

事業費(千円)	3,028	事業費明細		
		節・細節	金額(千円)	積算根拠
国庫支出金	/			
県支出金			別添のとおり	
その他				
一般財源	0			

市制75周年記念事業企画書

課所名	経済部商工労政課
事業名	新居浜まちなかフェスティバル～未来へ続く道を舞台として～
実施主体	市制75周年まちなかフェスティバル実行委員会
事業実施期間	平成24年11月(予定)

【事業の概要】

昭和6年6月に開通した昭和通りは、別子鉱業所取締役の鷲尾勘解治が、新居浜の臨海部に新たな工業都市を形成し銅山依存体質から脱却を図るために打ち出した計画の一つであり、それは、作務等民の力が完成させたまちの未来へ続く道でした。以降、多くの商店やデパート、映画館が立ち並ぶ華やかなメインストリートとして、また、朝夕の通勤時には自転車であふれ全国で一番自転車の多い街として何度もニュースで取り上げられるなど、まちの顔として活気に満ちた、多くの市民がそれぞれの懐かしい思い出とともに、まちの歴史を振り返ることのできる場所ではないかと思われます。近年は衰退傾向にあり、商店街に行ったことがないという若者もみられますが、昨年開通80周年を迎えたこの道を、先人たちの熱い思いとともに、次の世代にしっかりと繋いでいくことが、今を生きる者の責任と考えます。

昨年来、地元商店街でも、これからの新たなまちなかのあり方を真剣に考えようとする動きが活発になり、それを応援する市民団体や若者等とのネットワークが広がっています。

行政としても、進展する高齢社会を背景に、都市機能の求心性を高めたコンパクトシティの検討が、今後の都市計画の重要課題となっており、周年事業を通じて、より多くの市民の方が楽しみながらまちなかエリアへの関心を高める機会を関係者とともに創出したいと考えます。

<主な内容(案)>

①まちなか生鮮広場モデル開設

現在は呉服や貴金属・高級ブティック等「たまに必要な物」を扱う店が多い中心商店街。そこに日常的な動線を生み出すために、将来的に銅夢にはまを、農商連携による「食」をテーマとする周辺開発の核施設として機能させる提案を行った次期指定管理予定者と協働で、生鮮広場をモデル開設。銀泉街は青空カフェに。デイサービス等高齢者施設とタイアップしてお楽しみ買い物dayを企画。

②新居浜今昔物語・映画看板ミュージアム

古い商店に多く残っている昔の写真と、同じアングルの現在写真を対比展示。また、貴重な映画看板写真(S34年には市内に23の映画館があり人口密度では全国1位!)のミュージアム開催。

③たぬき祭り

新居浜では小女郎狸はじめ、金子、庄内ほかタヌキ話が大変多く、まちおこしに活かそうとする取り組みが行われてきた。それらのネットワーク構築も意図して、タヌキにこだわった商店街イベントを開催。(ex.タヌキ昔話紙芝居読み聞かせ、ご当地たぬきキャラづくり、高専の機械タヌキ、タヌキ踊り、仮装大会、葉っぱの地域通貨、たぬきそば・たぬき井・たぬきetc..)

④市民ミニディスカッション「(仮)まちなかの歴史と未来について」

*その他 事業者と各種市民団体が協力して、まち美化やリサイクル資源の回収、まちなか図書館、自転車修理・リユース相談等イベントを通じた環境活動に取り組むほか、併催自主企画を積極的に募り、合同実施で相乗効果をめざします。

【事業の対象者及び参加予定人数】 対象者:全市民 参加予定人数:延6万人

【期待される効果】

- ・銅夢にはまの活用促進及びまちなか再生に向けた検証
- ・高齢者の楽しみづくり
- ・若い世代に歴史を知り商店街界隈に関心をもってもらう
- ・地域活性化に取り組むネットワークの構築
- ・コミュニティの担い手としての商店街再生、魅力ある商店街づくり
- ・消費活動の促進、産業(商業)振興

【事業費及び財源内訳】

事業費(千円)	3,150	事業費明細		
		節・細節	金額(千円)	積算根拠
国庫支出金				
県支出金				
その他				
一般財源	3,150	実行委員会補助金	3,150	

市制75周年記念事業企画書

課所名	港湾課
事業名	第10回 マリンパーク新居浜アクアスロン大会
実施主体	新居浜トライアスロン協会
事業実施期間	平成24年7月8日 ～ 平成24年7月8日

【事業の概要】

新居浜市のトライアスロン愛好家が中心となって結成された新居浜トライアスロン協会がトライアスロンのPRと普及を目的として2003年からマリンパーク新居浜の夏のイベントとして開催しています。家族と小中学生を対象としてマリンパーク海水浴場を泳ぎキャンプ場周辺を走るレースを行っています。参加者の人数も第1回大会と比較すると5～6倍に増え、昨年度は130人が走って泳いで応援して一日を楽しみました。年々、参加人数が増えてくることにより参加種目を見直し、男女別や学年別にカテゴリーを分類するなどして、小中学生が友達や家族と気軽に参加することができるように対応してきました。また、昨年度からは新たに未就学児から小学生低学年が参加できるチャレンジ部門を設けたことでさらに参加者の年代枠が広がりました。そしてレース後はレストランブルームにて家族や友達同士でゆっくりと昼食を楽しんでもらっています。第8回からは協働オフィスや地元のフラダンスチームとのコラボレーションして大会を盛り上げています。来年度は実業団トライアスロンチームのゲスト参加などを含めて新たな企画を考えております。

【事業の対象者及び参加予定人数】

小中学生とその家族 150人

【期待される効果】

強い心と体をつくり鍛えることにより、また、カテゴリーを細かく分けることで多くの子どもちをを表彰し自分に自信がつくよう青少年の健全育成とスポーツの普及、社会生活の基盤となる家族がともに楽しみながら絆を深める夏のイベントとしての役割、市外や県外に新居浜市やマリンパーク新居浜をPRするイベントとしての役割、新居浜市では開催数がまだまだ少ないですが昨今のランニングブーム・健康志向のニーズに応えるイベントとしての効果。

【事業費及び財源内訳】

事業費(千円)	197	事業費明細		
		節・細節	金額(千円)	積算根拠
国庫支出金				
県支出金				
その他				
一般財源	197	負担金補助及び交付金	197	

市制75周年記念事業企画書

課所名	スポーツ文化課
事業名	旧広瀬邸お月見コンサート
実施主体	スポーツ文化課
事業実施期間	平成24年 8月 1日 ~ 平成24年 9月 30日

【事業の概要】

旧広瀬邸において、新居浜市在住の篠笛奏者 阿部一成氏らによる演奏会を行う。
 中秋の名月に照らされた庭と澄んだ笛の音をあじわいつつ、いつもとは違う夜の旧広瀬邸を楽しんでいただく。

【事業の対象者及び参加予定人数】

市民約100人

【期待される効果】

これまで夜間は旧広瀬邸の一般公開をしておらず、初めての方はもちろん何度も来たことがある方もいつもとは違う趣で改めて地域の貴重な文化財を身近に感じていただくことができる。また、演奏者は阿部氏を中心に市内の邦楽愛好家らとの共演を考えており、貴重な演奏機会を提供することができる。市民にとって芸術文化を楽しめる機会が増える。

【事業費及び財源内訳】

事業費(千円)	440	事業費明細		
		節・細節	金額(千円)	積算根拠
国庫支出金	0			
県支出金	0		別添のとおり	
その他	0			
一般財源	440			